

六日より攻跡の火籠を切ることに

超非常時局に劉認する軍大使命

問題の答解方針は大般左の如きも 略を図つて質問職に當ることにな

エチオピア皇帝遂に

首都を抛棄、御退去

た、他して現在軍型される重要

東京電话】第六十九階前職闘も一後の協議を遂げ発謝院契部なる連

政府答辯方針の大體

かになって来るのではないかと見られてゐる(似顏は馬娜醛相)

緊密なる連絡を圖り

質問戰に當る

月業権服等で特別職節終了後なるべく現行制度を基

は、 これが實行の緒に着手する意向を披藤することに決定した、甲町間はは、以ば、 と、 これが實行の緒に着手する意向を披藤市の砂糖、燐汁の事質の可否、 に方針であつて現行事質制度の改革。 煙草値上より進んで砂糖、燐汁の専質の可否、 に方針であつて現行事質制度の改革。 「一位では、 これが實行の緒に着手する意向を披藤することに決定した、 甲町間はていた。

れが實行の緒に着手する意向を披藤することに決定した。単七朝は、再檢討についてもその必要を唱調し、少くこも十二年度豫算より、記する方針であるが、藏相は同演説に於て東に官業及び專賣制度系統語。屬藏理は離離の膨踏能が2中州地方を通する 税制整理の斷行 意見を

いし、又農村製策については各 とい「「大田」では特に意を用ひ、電力談割も今 は特に意を用ひ、電力談割も今 、電力談割も今

が短いので實験等は成るべく空へ ごれは二、二六事性の影響と簡明 耐測度について」(首相ほか三名)

1 別九分種度大幅に随段が引上げ、脚僚音和間の正式開闢部員には上側がある二月二十六日以降約二十億億千年間の正式開闢部員には上がなられた。 アメリカカリフオルニア州原一部に続ける部上が社会はかは、

神典を目的とするものであるからし、人具能的題目に上るものとなって

峴瓜町の火事

火傷して危篤

| 近上げっている。 | 近上げっている。 | 近上げっている。

四朝方も島越してゐること 「・メンクレートが既に昨秋二、一流不財ではゐるが、既に各越間にられたこと

ての富然の結果として重山、陰山

の、訓除には上らないとしても、

る、これにガソリン以外の各職石の、豊麻には上らなしとしても輝上が引は、相常大師の単信に鑑み唱らかである。 で行せれると選と臓を焼と見られ、四繭の単信に鑑み唱らかである。 の、豊麻には上らなしとしても

各種油の大幅値上運動

地の實情に適合する料策を根立

口埃會商決裂で

邦品の陽税引上げ

四十八種目に實施す

飲はいといよ召集され六日の

開院における首棋、外相、厳相

(東京歌話)五分利國興信祭借書「省では右に職する特別取技規定を

ソリン値上げで

油製品昻騰

あす大藏省令

税制整理を斷行

日業及専賣を再檢討

十二年度豫算から實行に着手の

意向

集日前後には十名内外に差するの 表神で質疑迪告者も例年ならばA っておとされるが、質核院の施設

公正館の園田武彦男の「我國教

舒順既に当する質疑は非常に国 施政施設によって論戦の際は切

馬塲蔵相が財政演説

華々しき副戦は短行されないであ。に用ひ貯蔵銀行その他が供託又は「大配省令を以って定め、第一回後」せしめんとの方針で重鉛の速池

近けある

汎米會議

準備委員任命

さるべき汎米平和資磁にアメリカ 【ワシントン二日電画】 近く開催 ためハル長官が 提出議案考究の

ル国務長官は非偏安政を任命、左 京城明治町 (西部末) 1572-4037:3939

夕明 コチャンノ ラン

度く存じます。

「大学」を発見します。

「大学」を発見します。

「大学」を発見します。

「大学」を発見します。

「大学」を発します。

「大学」を発します。

「大学」を発しませて、本質に、美味、

「イン政します。

「大学」を呼し、のであります。

「大学」を呼し、のであります。

「大学」を呼じませて、本質に、美味、

「イン政します。

「大学」を呼じませる。

「大学」を発して、本質に、美味、

「大学」を発しませる。

「大学」を表しませる。

「

着くのがおくれ同家を金焼し同五日のこととて離者し消防自動時の 院に捜ぎ込んだが危間、何分日心 二日午後一時半頃夏城龍郎町四十 三うるしや野閣興氏(三)方の仕 **不**等外 院医科

中華料理全

配流太局 五三五音

町九七(舊金谷園跡)

嘘だ

薬局で、郷後鏡で比べてもらつて下さい。 と思つたら、外國品とでも、それとでも

央ホテルで教授派のみの自合を明

鉛生り電車に ふり落さる

(電車は人の節なりで、午前十時間の意味、三日日幽の人出は物を 半望義州通二丁目西小門停留所で れて治療一週間の傷を頭に受けた 町山七夫朋子さんべきはかり落さ 西大門行の電単によら下つた開朗

移

レスチナ騒動

は三瀬製長を支持してその解決策」なく二日国歌徒の定例祭日に置つするより方は、終計日を主流が至く、レスチナの騒光は依然観定の模様 買二十八ドル九十セント

を明いたが、結局助数域がは我々ノステナン関係また容別に関する。とり本科學は十名を交へて観合館「パレステナ」「同盟国」アラビアとり本科學は十名を交へて観合館「パレステナ」「同盟国」アラビア

して意見護まらず、爲に属土場半機したが、各會合共教授派が閩京 卒業年度派に合合を明き恋見を交

年の商大卒業生的六十名が参集

全般天氣豫報

越いた不在に飛じ、家城を娘響さ

は自動館を組織し掲呼順して乗放ったが、これに対し数技蔵三十五名に自動館を組織し掲呼順して乗放ったが、これに対し数技蔵三十五名

たが、これに端し敏変態三十五名 | イハにおいて示威行列中のア たが、これに端し敏変態三十五名 | イハにおいて示威行列中のア は循系返星、年後十一時半より中 | 夏傷八名を出した

傀儡政府不承認

東北の至 の乃 園 電 大 初 界 園 電 、 器 、 器

日本共立火災保険株式會社京城府黄金町二丁目一九九番地(羽取三階)

電本一五六六

☆所

商 五月七日ヨリ十三日マデ I. 动 舘

美術展覽 會

券 五十錢 學生券 卌錢 (會員券はプレイガイドにて御来め下さい) 主催 Ш 團體券 十錢 B īť

の巻なのに天候不順でうらみを

【ロンドン二日電池】イギリス外 、掠奪騒ぎ 外人の生命別條なし

百五十四台8 市場,四十八台8

で乗り、何はに連ぶか、命なり

の年ならば五月といへば名残り

られて出た、人、電性、バス、

吹き競ぶサクラ、サクラに転せ

そよ吹く風に類をまかせてける 花見化乱か、花のかはり嬉しく

從つて二日収は米だ首都アギザベーによれば、アデザベバ市内は二日

も原列曲はは皇帝は搭乘されず、プチに着く豫定なる人電ありたる

パ駐在アメリカ公使機関教育者高 L 総はせられた 家織で 當地英國(ワソントン:日部通)アデザベ L 監しては長肩、星子子房下も之

族及び供事員一行を楽せた列車は

私襲はる

「ロンドン」日電皿」、日ハイン・

一部道に身を派して卵頭ソマリーラー

だらうと観測してゐる

英國は適當な手段を講ぜん

ンドに入られると同時にエチオ ピアに於けらセラシェー世の治世

は終惑を告げるものと見殿してる

廿一名を釋放

(明日) 同日

(今晩)髭り勝ち

級をなさしめざるやう 通常な手段 場合には、 職能各國をしてその休

成るべく選に種政策形験節に出席
反に間はれ起訴収容中の代議士を

【東京南話】司法當局では選舉選

エピア 国内に 促儡政府を樹立する

了る組織的國土防衛工作は皇帝の を削るものと思ばれる。當地では セラシエー世のアデザベバ御選去

皇后デプチへ一八に覇な立まつて関係工作に発定

して居られるものと當地では推測

序かれ谷、師いた朝の太陽「明

日曜二日の行業

京後の二日夜の市内盛所には立 外人に願する際り真傷者などなの活動鉄に停止し、皇帝一行艦 みが優部島域に遊離してをり、アギザベバ市内は行政警察後職 火畑に包ますす

氏の構心を寄せてゐる所なので最

つ制関せず、これらは戦も國

原理開など具體的事項に主つては 意見を説明してひるが、その知

れたのは、イタリー軍の攻撃危撃降戦内を出ると向時に何時でも必要の際にはエチオピアに帰還出來るそう、なるべく近後地を選ばれ 去、三日帰頭ソマリーランドに御封着、所地より康藍に投じてパレスチナに赴かれる由である、皇帝が避難地としてパレスチナを選ば よ首都拠境繁を決賞され、二日関チプチ行駐船別城に召され、首都を顕進主総はされた旨の公電に談した【ロシドン二日電通】イギリス外務省は二日年後、アギザベス駐記パートン部公師より、エテオピア基治に

網にも強調されて行政、財政、産業 外交など各方面に敗革賦行

轉致候間此段廣告候也來ノ營業所、狹隘ト相成候ニ付キ今般左

メガネ 時計と

2時計 三計 **酒店**

中華料理御愛好の皆様へ

田中豊藏

宋氏の繪畫に就で、京都川 雄 山液型研究進展の跡を辿りて

殖銀を退き貯銀入り

自轉

族

竹林に産の一内屋を朝こそ

で頭のしれをやすめ給へ

ンケンア リブブラク

水香キーニキブラク ム ラ ペプラク 絵石 ン レ ピブラク 水香ンラ ブルブラク

車競走大會

日大毎國際ニュース

花の日曜

配光客も夥しい

京城運動塲で舉行

悟道兩圓玉

髪を美しく强くしフケ、カユミ、癖毛

が漆黒美を創るは自由!べやか

ベーラムのセン

P-マボ粉線ブラク

一掃します

は、毛根の機能を旺んならしめ、毛

削を配合し得たクラブ植物ポマード

髪に不可缺の榮養料・皮膚の强壯

繊麗な毛髪を創る

京城本町

株式會社・木

村

樂

房

植物ボマード50セン

きな晩酌しく一方で飲めぬが 會社

イオチリン一飲めば又酒戀し



灘の生一本

端午の節句を

二 人

五一錢個

二種切手的人由去感動機長(京越安全切大丁貝(剛速乾燥)管外爆減的最多後の人工を表示し、京越安全サメルを(ボレー) 京城第一自動重學校

京城府旭町二丁目八番地 医四十八番

ノキャラ香水 70 古典の包香 自由日報 多一 粉プラク 紙プラク 白プラク 智粉錠粉ンド 洗プラク ピプラク フイチカ "CLUB" BAYRUM

国大阪商船掘出帆

代表的禿山にお歴々を集め

嚴かに起工式舉行

の前途前

髪に大盗ご用

一千圓の高級反物奪つた 曾寧の怪事件半月目に解決

配置體、公職者、學校生徒等參列

北韓岡端里 開路正常支出 國際四种支出 阿斯斯河北京

18年7月18日

明確認定支店

+

拾ふのを見たのは拾つたのも同然也と

警察に謝禮斡旋方を願

仁川」第一教育那個は一日午後

慶南青年團

白廿團體が聯合

發會式の日取評定 灰岩小校長を命す 騒電小校副導 松延

憎むべき人身靈質

局者の言葉

カタロケ進星ス

MAP.

マツブ石油登動機 111P=リ 151P在庫

品質本位

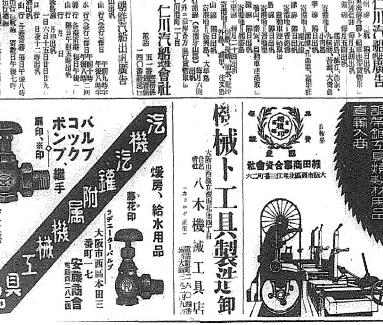
8 区式 A 型

ヒユウガルポンプ

大特價提供

SE SE 大阪優良品商店家

路案内書御送り 及代理店へ御申 元代理店へ御申 の場所、小林 高行、新潟、浩 船株式會社 修城 服業作力萬 部帯鋸五県類製材用品 ボンプ、繼手 爾印、※印 **斯材水五機械專** 並會資合事商田和 大川香三江東北區面市版大 捻字。鉄·五具類 煖房、給水用品)福住商店 大阪市西西新町通町百十三 製作 量グロタカ及本見地生 省新田梅山阪大 會商平太鷲



(国行貨物取以 山郡) 田明大回 田郡) 田月大回 **浦里、芒文岛** 大峰、仙水、乾坪 動車連絡取 是 軍

大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西區本田三

掲編引龍中、二日

デスク装置。

避 超日午後七時 一時出机

羅南の春祭

町の流ン中京町三四料理氏七派(・書かるでは時を移さず出動)

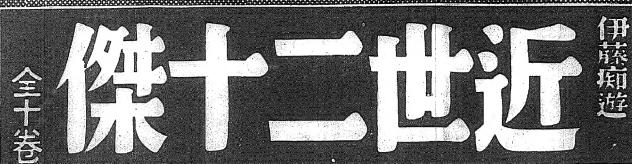
裡里の料亭焼く

寅海道瑞興郡の大水

青年版代献此四十名の館合を

【釜山】かねて外壁中の前心内 白石氏歸朝 臨病道でおい中の道門青

大日二大日廿日



京日本

第一回配本 本日全國一齊發賣

(可認物便郵酬票格日十月八年九冊)

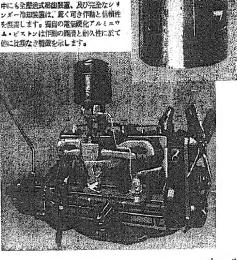
10 河清江高 公次之八坦秋雲東峯最 君九 郎郎 望郎 助郎 庵帆 齋湖 山英 平郎 貳部 薬言の者著





1936年オールツモビル・トラック 131吋_{及び}157吋型 最大許容總重量 5578瓩 (123,000封度)

新トラック専用エンデン**は、毎分12**00万至 2500回興にて152呎封度の进力を設揮し、警 通道関連度に於ては勿論、比較的高速度に 於ても强大な牽引力を特徴し、重量を開破 して急行運搬するに最適であります。力と 經濟と耐久性に於て、最も進歩せるトラック用エンデンとして强大な心臓を形成し、中にも全壓透式船曲装置、及び完全なンリンダー冷却装置は、驚く可き作動と信頼括 を整器します。 濁自の電氣硬化アルミニウ ユ・ビストンは作動の個滑と耐久性に於て



進歩した特徴を完

新オールヅモビル・トラツクは自動車史上 最古の歴史を有 ールヅモビル工場の豊富な經驗ご長年の研究ご實驗 つた最も進歩した近代的トラツクで、しかも 强力、經濟の點に於て、2噸乃至2噸半積級に新紀元 すべき理想的トラツクであります。力强い近代的な外 型ベヤリング附の頑丈なフル・フロ 强力、經濟、信賴性の三拍子を完備する 强大な牽引力、100パーセント全壓送給油装置等を初 め幾多の特徴を有つてゐます。乘用車オールヅモビルに對 する「申分なき自動車」の名聲は、又直ちにトラツク●オ -ルヅモビルにも冠せらるべき事は勿論であります。

オールヅモビル・トラツク特約販賣店

日本ゼネラル・モータース株式会社

《平趣大和町支店、鎏油俎張页八大田、永闻、大邱、卷山、锦城、八大田、永同、大邱、卷山、锦城、四、同東大門、同地大門、同本町

0

負けつづけ

のんで 勝ちつづけ



米國貿易政策

生田保田 郎郎進松 造郎作實 沼棚哲茂健篤

倉本

レントゲン科 院長

醫學博士

喜孜與 鸖

事務所隣)電馬以上 Ť 人階程に 人都



城市 昭和拾宣年四月廿日館出納抹式會社公監督役渡

戒嚴令下の特別議會開幕

目的にその形態的強化を費売せん

後建造に費手し、海上御野を

お越すとの作向で、過候の緊急院 第二字 お越すとの作向で、過候の緊急院へ持

され無力化したこの際に、臨政政

議會に提出すべき記案及法律案等

虚期間なので政府直脳部は今

態度は至くこれと反射でニ・ニス

你に達してをり、而も法沙異は常

◆動語來行文程整委員 宮古僧三 を左の如く決定して午後一時散励概を察げた、賴語奉答文起草委員

解散に伊ふ戦部影響であつて動きを述べる観的の考慮を要離する「東京電話」今報館に即内報の総「で法律案の下報章が保証である」

|脱乏||雌、甲酸||洋||塩二安||沸の脱山|| 地でってをり、我が海||洋の|||海原保障)の經勤必要なる てをり、米園或府もこれに慰し要罪を誘鹉するであいうと國兵建し賃をあげ得る國际の保持(西太平

「佛魔だけでは二十八代を葬じ、今」年後六時アポザベバを配る二十五り今離離に提出するに決定した法 | 佐れば、イタリー紀光鵬終は二日

各省とも鼎つて法熊案を提出せん

内際制の親に接し、サーテライト 時を聞じるして飛行標目五十機もキロの地脈に飾音、アゲザベバ市」に「人城の豫定である、なほ右と

先發隊アギザベバに迫る

エ國皇帝の御行動と

何等の關係はな

英國政府から言明

政府の施政方針に掛する質問職に

作の全貌を報纸したる後、直ちに

琢算總會は八日から?

等内陸周のニ・二六事性報告収載 相は総政維端原乱を拭み、次いで 相、外相等が貴族院に於てなした 旅歌筆楽師歌を抜き、天いで「朝氏(献左)の敦瑩前者、職員、「태魏の師歌をなす外、馬繼數「三氏(武士)の歌弓勛郎、疑勝上外相等が比較続に戻てなした「初日 は石四氏 応で打切り 総守趣

本内陸和総言を求めてコ・ニス界 氏 (民族) が一般施歌成態を続げ あるが確実の嫌態を保守のでいた。 これ、諸日第二郎として小田が書 の朝日に見つて似行される電影で、八田の金繋を報応したる後、直ちに て歌遠、第二頭には瀬田園 松氏 総上と原郷がより田蘭、本館職と併の命会界を報応したる後、直ちに て歌遠、第二頭には瀬田園松氏 総上と原郷郷は早くも三日目の八郎の命会上質問添のが成なくして正 財政部館、第四郎とは前正成氏(民族) 行して一郎一苦り・野上・ちの節様と併明の短い廊の命会上質問添のが成なくして正 財政部館、第四郎こより一 越を開發、劈頭頭田首相の風或方「直後、始めて襲動の攻影艦が展開

國民の覺悟を促す

どさくさまぎれん

て左の如く海軍の所信を翌明され ▲ならう、即ち今回の遊覧におい を設別、國氏の大質悟を促すこと

ある、また重要法案の特別委成に 間には大體豫算、整部、請顧の三 **島関合しその市向を叙述して決定** る筈である、今のところ首脳部 質及び昭和曾に一部を護り、

段長を明和僧に聴ることにしては 一語館の徹能を競印するに弱める意

民政黨の今議會對策

政友動語奉答文

不穏文音等取締に遡する法律思想犯保護権領法策

極力政府を督勵し

が出席者七十餘名、職會だつた

科岩・サー

病

风导级型粉土

岩井勝三郎

迷見が廿三名

B機械無代進呈

、人の前の中に泣きわめ人、日曜の昌屋般は初六

帰然を終へて満洲に向る途中三日 カ・ロサンゼルス商工館議。中には判明の常であるが、政府反 京城では歓迎プロ

一、今回は政府の提案五十條件の一、豫算制管は八日頃より開くと

||一個日上午所ホテルで午 其他心を開展ご記して心臓す 側師と米國との質器

女中 年齢二十歳より三十歳年人衆議ありたし 成語の世二二七十歳

古に限り待に寄国にて 気以す 西端海半十五字語一回五行の という は 一回がに 五十 の という は 一回がに 五十 の という は いっぱい は いっぱい

※京日案内

末期 花柳病専門

名人

園

店 員 入用け五六歳以下に 近人ある方午即中来読 太平道武丁自昭本三八七五番 大平道武丁自昭本三八七五番

特別等内

+

なほ東京自動車聯合體では 八部に於て全國州事首を明旭、大 成水磁して四日商工省を訪問、

ルの廻轉で即墜に正確なる結果

が得られます―計算事務の

時京城臨木町一八二級湯の女風日

で、時に自選もあるが大郎分は午で、時に自選もあるが大郎分は午の男は常に和服養が

後十一時から一時ごろまで、旭町

様なので本町岩では二人の正視を

状めてゐるうち、母外にも新聞を

際に打たれながら天の行方を探し するとで京頭へ来たまく音として

鑛山家の妾

迂回して辿つてゐる、青年は洋服

の妾方徳家さん("")が退職で関し

子供もあり、その上更に配近では「を加へるのみなぎず、その風氏教と今まで信じて來た夫には本張も」所謂試験地獄の略調爺を調だしさ

【東京南話】現行政験制度の不備

これに根本的収正を即へんとして

にある則

いっぱ傍から繋をかけ、戦は本一院に連れ込み手書で中だが生命度一つたのでの襲したものと戦闘

無條約狀態は不可避

及び軍備整備による両力の充實を

は當然のことである、然るに蘇聯

一流の湿疹気により二、三週間を 状態にある、またこの交渉も繁敬 は後となるなければ明結出来ない

根本的以正を行ふべきや否や具格 べきや、取は試験制度そのものの

必要とするものと思はれる、然る一寸敬敬上の思繁を一緒せんとする

我方萬一の對策考究

園の主題のうち版本館当立を示し、版出、カラハンのだった、新興環保約に融する日酢南 年とすべきことをお

の路。この地がバット線がつて最いのけて「差漏火」の間に通りぬけ

通行の臺灣や蝦ぎんにみだらな行士競励と廿四五般の男があらばれ

旭町に出張するので、この頃ではかちあふことはなく、一日交代に

問題中数個月期学氏は面用で上京

二人は何事か示し合はせてゐて、一氏の一人満だといふを貸じて結婚だらな行為をしょうとする。この一度、肥良は同女は三年明威美で李

旭町に二名の痴漢が出没

計算器 カタログ間 3 タイガー計算器株式會社 京城出張所

合理化はぜひ國産タイガーで

京城府太平通二ノニー(電話本局2004番) 本中エ 雄 火 阪 市 東 渡 川 英 5 年 ・ エノー 〇 東西・田泉瀬 東京・戦争・第2・7年・ギス・フェ

Ħ

文章 三八七番

一、明、明、草花類、培 養特製肥土 特質酸酸之类。 特質酸酸之类。 特質酸酸之类。 特質酸酸之类。



型線型星 在單豐富 店理代辟廟 會 喬明泰 韓 所 强 出 城 京 會 八――ノー町金貨府城京
番一〇三三世局本西電



【カイロ二日電池】エデプト 埃及の總選舉

にわたつて行はれた劉智認選集に

した。に電み平比交組は交数闘新の一方「反して上游撃役の頭銅製膏のみを一恐れあり、機能を顕し地行は敵部が削、資上に及ぼす影響の顔の重大なったいては、完成製膏のま言と感く相、脳の製膏を強だ不能にならしめる あるが、今日小學校、中學校はも

一少数の科目に限る凱提不備の結果 **叉相改正を目論**

職業野球リーグ戦

でも食ふておかわばなられといふ。での完養は大つかしく見えた、し 力の不偏に帰因するものではなか。 雇中選に一點を那へ、前半瀬中優

京電よく雪唇す

四回の波瀾で殖銀潰

(題)無路(鐵)山中左即 柳(城) 百石、大騎、中河(駅)四氏(出たが、河野のベントで 京電 0004000)

殖銀空01000AAA

◆六回(雅)後原二個失二生き早 →六回(雅)後原二個失二生き早 川保田共二四球で副盤となる。 佐田二 ―――後三援したが牧野

砂片林西三·中清座西村好水田隆

有津の三張に止んだが一暴四點が、東山の三前バントは安打と

京電は主熊協本投手、強戦も大事一一擧四版をとられるの受目を見た

殊勳者京電の平井君

により第一窩女生その他の側直

は、中島遊の匍小寺原を封教へ は、中島遊の和小寺原を封教へ は、中島遊の和小寺原を封豫田 ・に迎徳田東四郡に飲ぎ、牧野 ・に迎徳田東四郡に飲ぎ、牧野 ・に迎徳田東四郡に飲ぎ、牧野 ・に迎徳田東四郡に飲ぎ、牧野 ・に迎徳田東四郡に飲ぎ、牧野 ・に迎徳田東四郡に飲ぎ、牧野 四十二十二世紀三版上にかを計 一 小や原・石質に安打しな川田地 し 小や原・石質に安打し東川上並 中島・中川四端で山谷は大野に 中島・中川四端で山谷は大野に 中島・中川四端で山谷は大野に 中島・中川四端で山谷は大野に 中島・中川四端で山谷は大野に

京東中有林原中平平機噌 山川神山 原外山本田

日本移民は農業のみに従事す

であつた、八回のチャンスで殖転

南京虫・蚤・家ダニ

士夫妻は二日人在ダラー河船モン 嘗つたドイツ無代所公使キープ問 ロー號にて當地に野毒上海に向け 門司職語」選回連商協定の面に キ博士 妻上海へ れたので大戦楽になりました。そ 制 感感でも窓分泌口されてゐる機で 中 素感でも窓分泌口されてゐる機で 中 素感でも窓分泌口されてゐる機で 中 素感では、何れの の

酒・煙草をのむ人 花棚病をやつた人

れる様な歌呼組に本助賞及京城府 燃える概な倒走と呼ぐかなフォー

リカキ地道市の途に上った(製蔵は東京郷出版の「行」 早大ナイン形皮米 見替マネージャー以下 上午後三 解積値出例の顔田丸で佐硬、影山研教長に引きされ のでは、近いのでは、大下半

| 行の京城自動東西工場合は主版 | 男・人回 | 市場州金融館2中線 | 市域を扱っ国際統合自政心を定立 | 京水 | 市域と | 市域・ | 市域・

行の京城自動用西工駅合館主服、本化を撤の国防航金自販川販正大

| 10元度・財政等に数全部と戦・ | 多項音 | 「京城李清王2の南第一年の元成皇が政策とに数全部と戦・ | 多項音

榮冠は李、張兩君に

東は、飾ちくく切つてみるが、酒「臓影節に難はれる前期です。」「効果を信仰するビタシンおを豊富」くして火髪影響され、発展各項な資をひれくは臓影節、中臭に傷る」を試じる縁になるが、何れも中風「蚤(ホルモン)を主難とし、その「木脈は、彩年臓癖した痴疾病をよ 毒を消し、血液を淨化する新療法完成

昭二|回版は三日午後零時卅三分

對帝大二回戰

り神宮郷温で併丹(帯)長郷、 東京電話」東京大學語製リーグ

西村(學)四氏影響、一一

今から行へ

藻染

夏やるより効果的で

で立歌大戦す、勝戦二時十七分の先攻で開始、結局一〇A――二

補回戦に入り

城實業野城リーが遊信副練道の|

接戦の末遞信恨をのむ

のパントに継続、田坂上 五古賢 今九回(遼)勝井四球に出で中島 今九回(東西なし

▲就合時間 二時間▲ボーク 東

三三二佐門中石村浦二投投遊遊 加へてまた、點を重ねたに戻し、

雜落田千水坝山阿骨清東和天岡 置宮中田田原中町田水 垣野本

3 - - 3 - 6 直 1 - 1 - 1 - 3 - 6 直 1 - 3 - 6 直 1 - 6 直 1 - 6

京師季0010002000 3の善願も至しく四人動三階収した (閉解六時五十五分) 內鮮對抗拳鬪 イマッ関水がを少量、宝内の空中掃除 の前に系属を閉め切つて

然にゲームを避んだ、後半も京師・金剛(白田)打倒・金石(東洋ヶ) 十分本断公園祭において観行、艋 ガス にか よつた 縁にコロ / くと 観りが楽闘/公は、「日午後六時三 開記で聞は梁が観収役の香点で演に思す。」「日田幽後鐵道」面内 にスタインに扱いて聞くと、十分 大山 (白田) 引分け伊藤(横漢タ) 響がつて死ぬから、それを描き出

火をしておいてこの第二回報はどう れて一覧を作ばれ、とても最後ま 因は六回のバスボールと後半投手・千片山の安打で一點を望した四回

| 回目に早くも三本の安打を集中さけではないから、結局、遞ばの脱 取した、京師やく立意り、三回砂

島に交代させる手はなかつたであ 切り、三川京師三好投手の温調を 押切られてしまつた、脈質は後半一野と安打三本を打ち膨麻には至ら一島の所で失って条に鱗直のため、離中攻勢で一回早く坂元・山本、金

お一面いて四期四、安打一で三點を先

合をした、高田は三回職のために

経信はけかもまた節め切れない試 ーさせたのであらうが、中島は二 らうか、鮮純も彫り書つてある

御宇哉(目)「街 荒川 伊藤(日田)打両、洪(東方) ヤマ (日田) 製定 周 (京 三回二分十

的に入國許可

ヤラ大統領の名を以つて新沙民令日市迪』パラグワイ磯府は二日ア

制 ころ二二時間後に洗ふと、線重が ・ な器面になりますから朝の総にも ・ な器面になりますから朝の総にも ・ な器面になりますがら朝の総にも 大効果を応時に緩弾する。即ち、大効果を応時に緩弾で、然も他品で見られぬ物に無器で、然も他品で見られぬ イマツ殺虫所は、政重な情腦心を

また。 わけなく見俗できる。 効果を聞くた機能は本師以外にと云ふ都被なるのでも、普通の雷、効果を聞くた機能は本師以外にと云ふ都被なるのでも、普通の雷、効果を聞くた機能は本師以外にない。

必要な注意

を清潔にせねばなりません。それ、長持ちせず、交感機などを汚す情景所と錯綜には光づ家屋そのもの「液性に 殺虫脈は効力が一時間で、登別と錯綜には光づ家屋をん。それ、長持ちせず、交感機などを汚す情報。

ぜひ必要な 殺虫・忌避・刺戟の素晴しい効果

兵隊さんもイマツ

り込んで置くと完全に死れ、顕取イマッ鲲叔份をふりかけ、よくす

初は述べても謎でないから、家前

アリー・「神」なるです。

液质氯丙基

怖るべ です。乾燥し切った此頃の鋭い空 軍なる鼻加答見だとて油断は大敵 理事は大きなとと、小平助氏監督教育 ミツワ諸庭職三十二方の内部・東京をとした。 鼻つまりは呼吸困難の基 今すぐ 一番信用あり日簡便な此界病薬を 如何に異加答見の多い事か きは風邪で

此一壜が力だ 上戸も 下戸も

白です又美味くも飲ます

②・ツワ石鹼本部東京・南嶺 丸見屋商店・藤品部での時代を繋びても可念製作表 東温度の飛動 GOHO-たる関の存在機関にあり。東京には一番を乗ります。 製造資本の 特数 (コーニー) 機能資本と一〇番・輸給のミヤ

龍中陣を攪乱一點となり果然勇勝

パラグリイが

素晴しい三大効果

虫より

とは、夫こそ唯の一度でも 経験された方の傷らぬ皆

かけてね、其のルンドンが私をい

米ちゃつたの、そしてルンベンと しめてるとこへ、此の三数さんが 『おやないの、私ルンドンを轢き 「無差するね。それで此の二枚つ

に男を、確眠さしちやつたの?」

の人段神したやうになつて、ふら 接続してやつたわ、と、どう。其

けたの、腰間その人にとびついて

「ええ、私一人でわら

一弘、この小説の作者を知つてる

5

してことないわら あまり此方の 「ふと、概ながへ方をしたねこ 生産品に置せて、私を否しめる

でなに?誰の小説?

『隅然その人の任所や名がわかつ 「それでどうかしたのos のよっそれで、仏、其の人には

単様を無限してるちゃないの。



四日の番組 (月曜日) 政 送

五のさい物

唐祖 平彦順 外

同七時一分(度)頃の修 同大時三〇分(大)英許藤年前六時(東)ラゼオ部様 ハ) 歴 秀製 原典 (度) 何の吟養 眼無 |多い皮膚に(二)潮戸、海「卵出致しませらの時三〇分 突厥諸路 春光 | 長馬朱に暴です

時一五分 家象派報·料理献文 等時五分(正) 新級風景

輝きぞ、我が命の職くかざり、汝 としきひとなよ、汝こそ我が心の

同七時 ニュース・天落見込・職 (心をたすけよ、故が爲に、愛の思 同六時二〇分(東)コドモの一間部 同六時 (東) お話 初夏の科學 山) 神のみ思みにより、我かなやめる 妆の優しきむもて の難少く…(いとも言の葉少く) はいともよきものなれ、いとも言 今日を晒れと音師つた村娘よ、汝

同八時 長明 二人 唄 占語百太國 上院の 今日を明れと哲師つた村娘よ おく美しき選玉

岡曲

世界女流藝術家物語

見ても、わかることであるが、殊一覧は影道などさまざまあるが、各 これは大古、上古の様々の遺物を 受性とを持つてゐる國民であった ある、美に当する流い認識性と感しを話してるた 上代日本の女性たち 福左廣と、既は文學、吸は締御、 島 羽

牧さるが、御自分の運搬発許派を 今度は私、無発音連轉で、あやよ お巡りさんが来て高んだんだけど 戦略になっちやったのよ。共闘へ

一部金りてとこね。それを此の三

此方まで、自動車で送って下すっ 田して(私が此の自動品の連携手

「おや個人だね。早年成市でも打

です)ッて無事にすまして、仏を

に奈良朝に入つて、外国文化の影」方面に優秀なる藝術家を出してゐ 整術は實に目も即くばかりの実際 ◆ 定も藝術といっても範髄が

に無雅秀麗の流動術を生み出した文化とわが顧時有の顧民の風流性 ◆――平安朝に及んでは、これら きとの出來ない人々であつた

き動物家であつたのである。 - 今これらの人々の作品と其

実践部、済少納書、和泉式部、 になつたのかしむ!タク、タク、実践部、済少納書、和泉式部、 になつたのかしむ!タク、タク、に鬼雅彩館の満襲術を生み出した。てつぶやいた何うしてこんだこと 赤染備門、有質丁四根王小大君な クターおくいやだ!いやだ! るなら強くへ行くのはやめてくれ 人よ。もし私を本當に愛してく

けてくれよ、クタ、クク、クケー おくいやだりへ娘はかぶりをふつ そして、胸のこのなやみをとりの

題してやつたわら

死冷は笑ひながら訊いた。

そして酸糖をしむけてみたのよっ 「私その人とお友選になつたの、 「あなたもう私の奴隷ね」ツて、

死許 連幅で乗り出しもやつ たの 旧邊から自動車の連轉を放はつて 一私わ、昨年の要……おやなくて

復讐をしたねる。だけどどんな、「復讐や薬迦だな。だけどどんな

なの、それでは言つてやつたの、「間六時五五分(東)カレントトピオると其の人私に関心を行も出し 「一〇大時二五分(東) 歴史 薬

と、その人怒つてね、私を投げつ

どうして、そんな男を知つてる

感ひに傷りは無きものを

同四時 ニュース(筑泉道報・管



儿 能子

に係りはなきものを、美はしくい。 会は四月の春光で聞いてゐたし、んと、な、常じ給ひそ、吾が盤ひ わたしは野の削ぶからやつてきた な、のたまひそ、個身を繋ぎざら、お削は山から出てきたのだってね 一瞬りでもづまつてあた目だった、 お前はほくえんでゐる機の女神の 人は響のうれしさに離つてゐた、

が瞳は、我が胸に燃ゆる表しき火機に、楽しかつたし、私は、態を

ぞ、な、のたまひそ、御母を憂さ、驚みてゐた、差は四月の景光で即 はらんと、な、信じ裕ひそ、吾が一いてゐたと、その違い!~數写日 極々の水の葉といふ木の葉は、春 の併はいくつか、畠中の道を急ぎ

る飲みて、草枕しばし思む

見よ

此

の爆

彈

的 景

景品が洩なく付いて居ります 而も其の口金には與味で實益滿點

神の左記

景品は日金と引換に差上げます

れでござる、何かひぞ 一村の石者集りこごる、猟守祭の駒 お大娘は鬼顔ござる、花の墨の計 終れゆけは心間も見えす、歌哀し でこざる、丸月九日月の夜ござる 統本國彥作曲 動り温調れ

月の勧光で輝いてゐたし、人の香 風になぶられて、甘い眠さに酢つ 私も野の向ふのふっ お六娘は座敷でこざる、陰田高思 こさる、虫の暗く昔が邪難してど 影法師ござる、自の養物呼出し ざる、つぶて自由さまとしござる

愛出期間

P. 鬱

E

昭和十一年六月末日弘 至同 年五月末日

五拾錢

18 番は祭り なかつたね

のうれしさに**飾つてゐた、**強い遠 楽しさに離ちてみたことか、祭は 川へ釣りに行かうよ、きれいな娘 がゐるよ、ラ、ラ、ラーそして歌 いその日の私途の機は、何といふ いても気かねでござる、村の石満 お六殿は品よくころる、口笛もつ

我にのぞみを返して給るこ しぼれてござる、月が出てきて笑 八、歌劇清教徒 君の御聲優しく ベリーニ作曲

彼の君、愛の不難を置ひたまひし 波の起の御殿、おやさしくわれか くば我を死なして話も……此端に に、あはれ不能なや、早や後の君 あはれそはは

₩ 出 環 株式

明張會

一次いてもお所を訳いても、仰言ら かはりに、理由のない接吻をして ぶいと跳つちやつたのよ 私その人を悩ましてやつたのよっ **芳彦は何故か溜息をついた。** 同九時三〇分(軍)時報 一、新公二、 間『消放徒」君の御壁優し ス・気象流戦・翌日の承組(地力時三〇分(東)時報・ユュー 盆 郎子代子 同六時(東)

本紙一萬號記念三千圖懸賞一等當選 藍紫斯上演映圖

伊奏 高 折 宮 次 | 同八時三〇分(東)二、武者祭べルトラメリー能子 | 同八時(大)一、五月職の御職後しく | ◆ラヂオ風景二圏◆ ス・氣象能報 根本精神 根本精神 **京城帝國大學敬授** 松月 張雄

るちやないか、ル、ルーそれだの 行くためにああして毎日走つてみ お前と助ねてからもう三月經つた

に私だけ

ル、ルーおり私の感

河九時五分(新)ラデオ場曲ー加河が野五分(新)ラデオ場曲ー加 春先に多い家庭講座『聖僧 捨てないでくれ、そして胸のこの 人よ、立つのはやめてくれ、 に?きれいな機能競は美つた。あ んたみたいな人と結婚するのいや

新女院線の一事める例女』に登み

『感心だなら

「何が感心なのよ。お兄様つて話 「それつきり、その男と逢はない

共の翌日は日曜日だつた。

萬里子(三

既里子は恐怖りの机によってい

なに潜んでるの?」

見の劣性が削かに記入って来た

「だつて、搬ひ先のわからの題をまだ函野をしたのよ。」

「逢つたわ。私はそれから次に、

生養時五分 点源操作外

危一杂乱

萬里子の服が生々と聞いた。

同二時一五分 家庭時間 金 光 欽

朴徐馨松公曹 類符

も思ったど云って春光は極々の皮 素人の方は草の崩出る頃には古

かぶれる人と多くあるし、確々の 實際も風々植物の脂出る頃は冬魚 になる時であるから共植物類にも に依んでゐる草も木も一時に孔河 たとへよ、しらべよ、欲ひつれよ たいつよっとらべよ歌ひつわら

来の整節でありますから、此等の 中野に投病を削されるものも出て 城のほどり 小諸なる古

陸頭後に跳て其の像師と治療法を

あたりかき光はあれど、野に弱つ 小語なる古城のほとり、雲田く遊 番も知らず、後くのみ番はかす 姿の間か、日にとけて淡雪流る 思しむ、原なずはこべは握るす いによしなし、 しろがね

内室ノ設備有り 置通板室及隔離

城尼西小門 電話光化門以下次 炳

モデルになりにゆくのよクク・ク かぶりをふつて近事したローマへ およいやだいやだー優な人、娘は ク ・ ○ 開き、 ・ ○ 開き、 ・ では、 釜山出帆 九州郵船株式會社 九州郵船整出張所

大阪衛船株式寮近二川代理店(東京市 120 日 11番(南田) 第四四・二番二一一番(南田) 二一〇番(看面) 二一〇番(看面) 二十八番(現塞)

代理店

町

盟口

一商

與南浦、大連、天津行 慶海衛、芝罘、大連行 慶海衛、芝罘、大連行 東海衛、芝罘、大連行 日午後 時入選

威海衛、芝罘、大連行

高杉商店回漕部 第2000円 野路 (田敷野回田)

大阪商船掘出帆 世百

四百世日 四世百 四月廿四日

ンナハートウ Ø 服 4 店

原

京教本町 三田 政

杉山 商會

ボツシュ製品 28. グリースポンプ、電氣工具、及感館空氣プレーキー其他 本線代理店イリス商會 手反变店 京市赤阪區溜池町一五 リス商會 大 新神 ステーシュ ステーシュ ステーシュ 在を御想起下さい秀なるボッシュ製 柳生 ッ シュ部 商店

で解消する

手間ればいの快報のやうに「日

奉京名古 天城屋 ション